

## 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 回復期脳卒中上肢麻痺に対する ReoGo-J 併用効果と適応の検討

### 研究の目的

脳卒中治療ガイドラインにおいて、脳卒中上肢麻痺患者に対してロボット療法を行うことが妥当と報告されています。当院では令和2年より上肢用ロボット型運動装置(ReoGo-J)を導入しました。作業療法に併用することの効果や適応を検討し、今後のリハビリテーションの質の向上を図る必要があります。そこで、脳卒中発症から4週時・8週時の上肢機能の変化を調査し ReoGo-J の併用効果と適応を検証することを目的としました。

**研究実施期間：** 令和6年1月23日（倫理委員会承認日）～令和6年12月31日

**対象となる方：** 脳卒中による当院入院患者のうち、平成31年4月1日～令和4年3月31日の期間で、発症から4週・8週の Fugl-Meyer Assessment(以下 FMA)を測定できた者を対象とします。ただし、電子カルテのデータを研究に使用することへの同意を得られなかったものは除外しました。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報について、当院リハ部門で継続的に評価しているデータを用いて調査します。その他に、当院のカルテより基礎情報として年齢、性別、脳卒中の分類（出血・梗塞）を収集し、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には発症4週時点と8週時点の FMA を収集します。ReoGo-J 導入前後の対象者に対して、両群間の効果の差を比較検討し、効果と適応について明らかにします。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 渡部清寛  
連絡先電話番号：0172-28-8220